

## ● 尿酸及び糖・脂質代謝異常が腎機能に与える影響についての検討

札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座では、溪仁会円山クリニックとの共同研究により、尿酸及び糖・脂質代謝異常が腎機能に与える影響についての検討を行っております。

この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の研究担当者にご連絡ください。その場合でも、あなたは何ら不利益を受けることはありません。途中で研究登録を取りやめた場合は、あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録などもそれ以降は、研究目的に用いられることはありません。ただし、あなたが研究登録を取りやめたいと思った時点で、すでに、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ず、研究参加を取りやめることが出来なくなります。尚、この研究に登録される方に生じる負担やリスク及び謝礼などはございません。

**研究の目的・意義：** 腎臓病は健康診断などで早期発見にすることが大変重要です。血糖や脂質あるいは尿酸値の異常は腎臓病の発症や年齢による腎機能の変化と関わり合いがありますが、未だに十分には解明されておられません。そのため我々は健康診断を受けた方のデータを解析して腎臓病の発症や年齢による腎機能の変化の要因を解明し、今後の健康診断を受けた方へのアドバイスや日常の診療などを通じて皆様の健康維持に役立てたいと考えております。

**研究の対象・方法：** 溪仁会円山クリニックで2006年の健診を受けた方を対象としております。溪仁会円山クリニックのデータは個人が特定できる情報は全て削除された形で札幌医大にデータが提供されます。結果については個人が特定できない形で集計され、学会報告や論文として学術雑誌に報告されます。また、結果の概要に関しては、研究結果がまとまり次第、本ホームページにも掲載することとします。データは当該研究の終了報告を学長が受けた日から5年を経過した日または、当該研究の結果の最終の公表に係る報告を学長が受けた日から3年を経過した日のどちらか遅い日まで保管され、保管期間が過ぎた後、紙媒体は裁断して破棄され電子データは消去されます。

**研究期間及び登録数：** 学長の承認日から2023年3月31日、2006年に溪仁会円山クリニックで健診を受けた28,990名。

**研究実施施設：**

札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 研究代表者 教授 三浦 哲嗣

資料4. ホームページ掲載文

溪仁会円山クリニック 共同研究責任者 副院長 埴 なぎさ

この研究は、札幌医科大学倫理委員会の審査を経て、学長の承認を得て行われており、個人情報保護には、十分留意されております。解析に用いるデータは、個人が特定されることはありません。また、本研究の実施に当たり、対象者における費用負担や開示すべき利益相反関係にある企業はありません。

何卒、この調査研究にご理解とご協力をお願い致します。  
ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までご一報下さい。

〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座 担当:【平日 Tel (011) 611-2111 内線 32250(教室)、休日・時間外 Tel (011) 611-2111 内線 32320 (11階北病棟)】 担当 研究責任者: 三浦哲嗣、研究分担者: 古橋真人・茂庭仁人・田中希尚